

広報

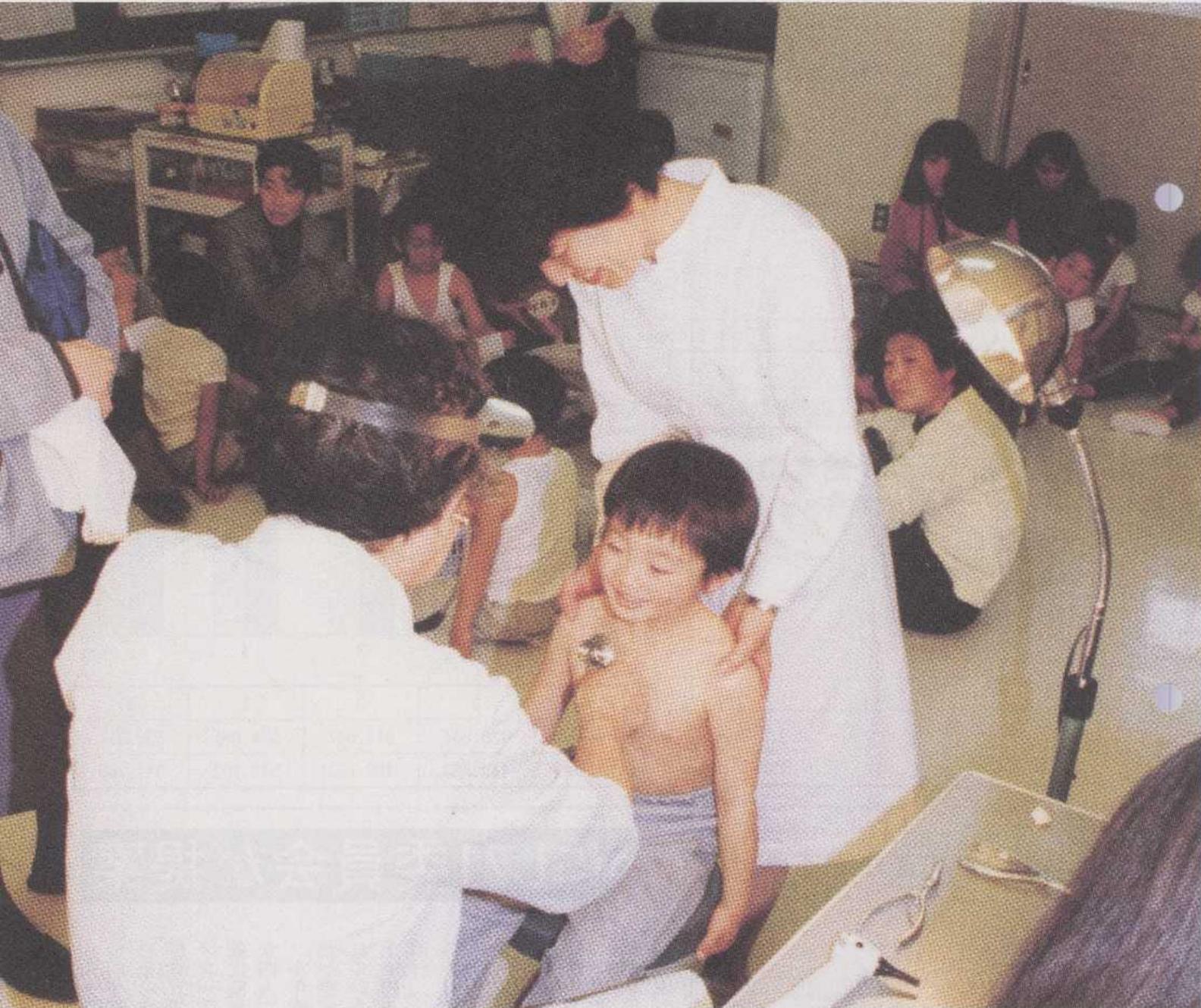
かわにし

(毎月10日発行)

人口の動き	
— 12月1日現在 —	
男	4,324 (-2)
女	4,398 (-3)
計	8,722 (-5)
世帯数	2,250 (-1)
() は前月比較	

平成6年 12/10 No.436

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)
(FAX 0257-68-3828)
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社



うれしいな、ボクももうすぐ1年生

☒ 休日救急医

12月11日 国保診療所(高原田) ☎ 68-2034
(クリニック川西)
18日 中条病院(中条) ☎ 57-3018
23日 富田医院(神明町) ☎ 52-3269
25日 池田医院(本町西) ☎ 52-2581

29日 大熊内科医院(山本1) ☎ 52-7066
30日 山口医院(下条) ☎ 55-2003
31日 山口医院(袋町中) ☎ 52-2174
1月1日至誠堂医院(西浦東) ☎ 52-3276

2日 庭野医院(寿町4) ☎ 52-2711
3日 大島医院(川原町) ☎ 52-2957
8日 第二藤巻医院(上野) ☎ 68-2018
15日 中条病院(中条) ☎ 57-3018

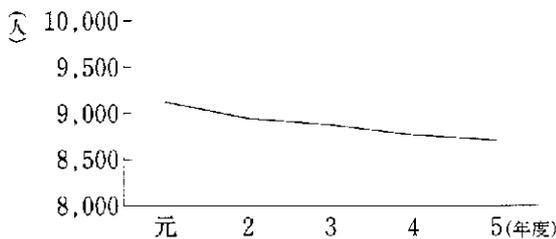
お年寄りの医療は 老人保健で!

70歳以上（寝たきりなどのお年寄り
は65歳以上）の方は、老人保健法により
医療が受けられます。

別表のように、老人医療費は毎年増
え続けています。また、川西町の人口
は減り続け、老人数は上昇しています。

医療費は、みんなの税金や保険料に
よってまかなわれていますので、健康
に注意して大切に使いましょう。

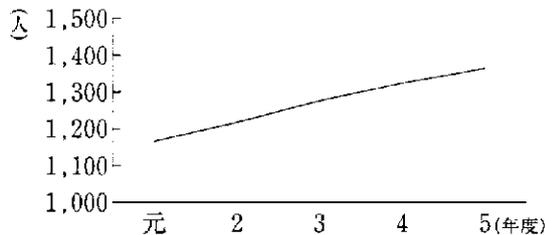
川西町の人口 (3月末現在数)



	元	2	3	4	5
一人口	9,124	8,946	8,873	8,765	8,707

老人医療受給者数

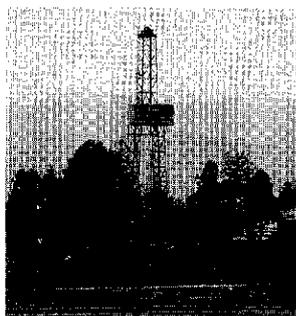
(3月末現在数)



	元	2	3	4	5
一対象者数	1,166	1,217	1,276	1,323	1,363

議会 報告

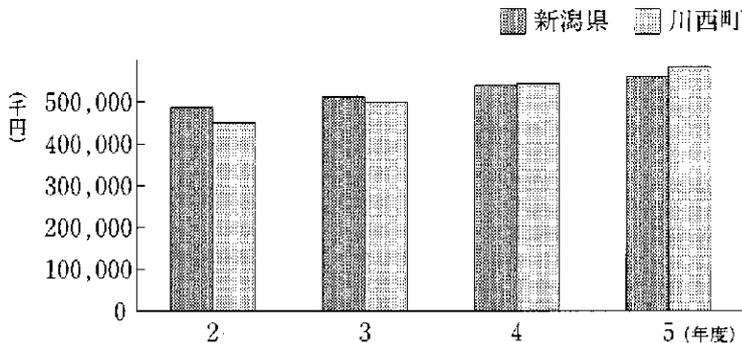
十一月十四日、第七回川西町
議会臨時会が開かれました。会
期は一日間で、専決処分した事
件（平成六年度一般会計補正予
算、簡易水道事業特別会計補正
予算）が承認され、平成六年度
一般会計補正予算（第三号）と
集落下水86号線水管橋上部製作
架設工事の請負契約が可決され
ました。



旧川西幼稚園脇の
さく井現場

次いで、町教育委員に兎玉達
雄さん（学校町六十五歳）を任
命することに同意しました。
今回の補正により、一般会計
は一億三七一萬六千円増額の
五八億九六一九万円となり、簡
易水道事業特別会計は三百万円
増額の二千万円となりました。
補正の主なものは、温泉井購入
に係る費用です。

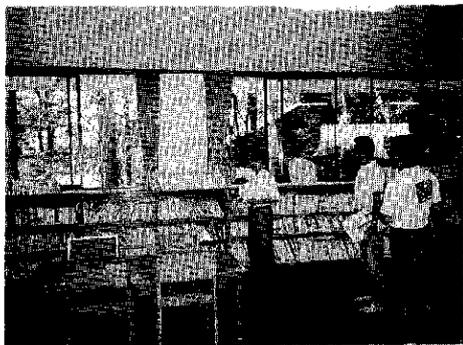
老人1人当りの医療費



	2	3	4	5
新潟県	486,504	512,047	538,881	559,211
川西町	449,853	498,132	542,102	581,269

こんな事業どうですか! かわにし21委員会が提案

長野県池田町で「町立
図書館」を視察



かわにし21委員会は、町政に
ついて若い方々から自由な発想
による意見や提案を願おうと、
平成五年度に組織したものです。
メンバーは、二十歳代から四十
歳代前半までの十人（男六人、
女四人）からなっています。
本年度は主に、昨年度同委員
会が提案し、本年度から実施さ
れている地域活性化プロジェクト
支援事業の審査や、群馬県新
治村（手づくり体験施設「たく
みの里づくり事業」、岩船郡関川
村（集落活性化推進事業）むら
づくり54作戦）など県内外六市
町村に出掛け、それぞれの事業
展開を視察し研修を深めてきま
した。これらを踏まえ、平成七年
度の事業案として十七件を町長
に提案しました。主なものを二件
を紹介します。

★木と草の文化保存再生協会

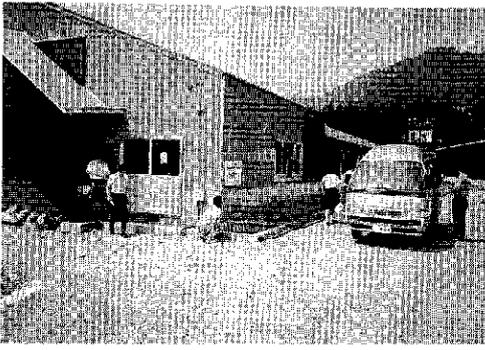
「仙田名人村」設立事業

◎提案趣旨

かやぶき、わら細工の技術をお持ちの方及び素材となる資源が多くある仙田地域に、これらを活かした事業組織を設立し、伝統技術に裏打ちされた新しい地域産業を創造する。

◎内容

- かやぶき文化保存再生事業
- かやぶき職人組織とかやぶ場の設置。
- 草木工房運営事業
- しめ縄、アングン、つる工芸品等の製作販売。
- 草木食房運営事業
- 仙田郷の食文化を体験する交流・民泊事業を実施し、将来の施設整備に備えてノ



岩船郡関川村の「かじかの里」を視察

ウハウを蓄積する。

◎期待できる効果

●伝統技術を活かし、付加価値を加えて新しい産業を起す。

★まちづくりシンポジウム in 十日町広域圏

◎提案趣旨

川西町、十日町市、中里村、津南町、松代町、松之山町の人達と一緒にあって、自分達の地域について考え、提案し合う。

◎内容

- パネルディスカッション。
- グループ討議（各市町村五十人参加）。
- 地域づくり識者の講演。
- 酒自慢、料理自慢の大交流会など。

◎期待できる効果

- 自分達の地域を広域としてとらえるチャンスとなる。
 - 参加者のネットワークづくりになる。
- なお、ご協力いただいている委員は次の皆さんです。（敬称略）

- 会長 星名隆之（稲条）
 副会長 長谷川 東（赤谷）
 委員 星名藤一（伊友）
 横山貴代子（朝日町）渡貫文人（上野）星名尚美（上野）
 山田 努（仁田）戸田真理子（仁田）高橋雅明（中仙出）金子正枝（岩瀬）

税に関する作文紹介

税について

川西中学校三年 山田清香

「ねー。体育館、卒業式までに間に合うのかなあ。」

最近、友達との会話の中でよく出る話題だ。

「早く作ってほしいよねえ。」

などと軽々しく言っていたが、よく考えてみると、一つの体育館を作ると言っても本当に大変なこと。それと多額の費用がかかること。その費用のほとんどが「税金」だそう。

私は前まで、税金というものにあまり良い印象をもったことがなかった。なぜなら税金というものは、私達の各家庭から少しずつお金を集めたものだからだ。その時の私の考えは、「なんでわざわざ私達からお金を集めるのだろう。そんなことより、税金用のお金をたくさん作ればいいのに。」

などと、税金について何も知らなかった私はこんなことを考えていたのだった。今、思ってみると、税金は私達の生活になくてはならないものだと思う。今、気がついてあたりを見まわせば、税金で作られたものがたくさんある。体育館はもちろ



ん、毎日私達が通っている道路。川を渡る時も便利な橋や信号機など、とてもたくさんのもので税金は使われている。でも、税金で作られたものはどれをとっても、私達の生活でとっても役立つものばかりである。

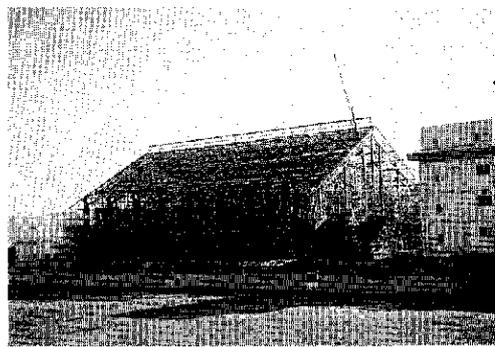
時々公共物をはそんな人がいる。公園のトイレなど汚す人がいる。公共物をこわすということは、みんなの税金をムダにするということ、つまり自らお金を捨てているようなものだ。トイレも、一人一人がもつと気を使いながら使用すれば、みんなにはならないだろう。トイレが汚いと入る気がしなくなる。

そんなことではなく、みんなのものだから、町の人誰もが自然にきがねなく使えるようになってほしいと思う。そうしないと本当に住みよい町と言えないからだ。

町の人一人一人が「大切にする心」を持つことが、まず第一

歩目だと思っ。

今、少しずつ体育館が造り上げられています。この夏休みの間、だいぶできあがったと思う。私は税金についての考え方が少しかわったし、税のことがなんとなくわかるようになった。そしてこれからは国全体として、税金を守らなければいけないと思う。



この体育館の建設にも多くの税金が使われています

いよいよ降雪期、スリップ事故に注意しましょう。
ブレーキは早めに、スピードは控えめに!!

スポ少11人に表彰状

町のスポーツ少年団の指導者として、ジュニアの指導にあたっていている十一人の方に、県スポーツ少年団より表彰状が贈られました。これは、同団が顕彰事業の一環として行っているもので、指導歴十年以上が基準となつています。

表彰された方は次の皆さんです。(敬称略)

- 剣道
高橋正司(木島) 羽鳥 彰
(伊友 沢口則雄(下平新田))

白井 晃(寺尾)

○卓球

村越繁正(野口)

○千手野球

星野勝行(発電所通西) 太田 正志(田中町) 宮 正朗(山 野田)

○橘野球

根津新一郎(原田) 山田常夫 (仁田) 小幡正晴(仁用)

マリンバをBGMに町民文化祭

十一月五日、六日にかけては町民文化祭行事として、総合体育館で町美術協会の美術展、公民館の作品展、ビデオクラブかわにしのイベントビデオ上映会が、総合センターではコンサート協会のゆーゆーコンサートなどが行われました。

また、千手小学校では、県民文化週間事業の「講演と室内楽のつどい」も催され、俵萌子さんの講演とイーストリアによるマリンバンサンパールの演奏に、多くの人が詰めかけました。



マリンバがおとぎ話を奏でました

町の話題あれこれ

ローラースキーで

林間コースに挑む

十一月二十日、町道寺尾千手城跡線の幹線附近からモトクロス場までの間を利用し、ローラースキー大会が行われました。大会には、町の小学生八人、中学生十五人のほか、妙高中学校から十一人が参加し、急な傾斜とカーブの連続する林間コースを、ローラースキーとストックを駆使して登っていきました。大会の結果は次のとおりです。(敬称略)

- ◆小学生男子の部 一、〇歳
 - 一位 高橋 恵 仙田小六
 - 二位 丸山喜之 橘小 六
 - 三位 大久保 峻 橘小 六
 - 四位 小林大昌 仙田小六
- ◆中学生男子の部 二、〇歳
 - 一位 岡田紗矢香 妙高中二
 - 二位 小林智恵 妙高中二
 - 三位 内山 梢 妙高中二
 - 四位 小林由子 川西中二
- ◆小学生女子の部 一、〇歳
 - 一位 駒村俊介 妙高中三
 - 二位 恩田祐一 妙高中二



- 三位 長崎達哉 妙高中三
- 四位 片桐健太 川西中二

大盛況！白倉自慢会

十一月三日、川白倉小学校を会場に第八回白倉自慢会が行われました。

この会は、地域の活性化を目的に始められたもので、数を重ねるごとに口込みで広がり、今ではこの地区の秋の名物行事として定着し、町内はもとより他市町村からも大勢詰めかけました。体育館の中には、新鮮な野菜や特産のしめ縄などを買求める人で熱気ムンムン。早々に売り切れとなった物もあったようです。



白菜やネギなどの野菜の外、川エビなども出品されました

大好き夏まつり 秋の陣

十一月三日、信濃川河川敷を会場に、大好き夏まつり・秋の陣が催されました。

これは、孫左衛門橋の竣工と十日町市政四十周年を記念して行われたもので、大勢の町・市民でにぎわいました。

まつりは、究極の美食コンテスト・ストーンアート・城戸真亜子の絵を配しての茶会・ミュージックアート・子供宝さがし



川原で野点まず一服



秋の花火もまた格別

などと盛りだくさん。今や妻有の名物レースとなった仮装人間バン馬には、十一チームがエン

トリーし、思い思いの扮装で健脚を競いました。

日没後は、妻有大橋に設けられた三九メートルのナイアガラやこの地方で初めての二尺玉などが、澄みきった夜空に大輪の花を咲かせ、まつりのフィナーレを飾りました。



妻有の名物レースとして定着 ご存知「人間バン馬」

町の話 題あれこれ

目指すは感動のハーモニー

十一月六日、川西中学校の第十回校内合唱コンクールが十日町市民会館で行われました。

これは、同校の文化祭行事の一つとして行われているもので、本年は体育館が改築工事のため、会場を移して催されたものです。一年生から三年生までの各クラスが、練習の成果を美しい旋律に乗せ、クラスの和をハーモニーに変えて競演しました。



川西中学校 合唱コンクール 三年二組による「山のいぶき」

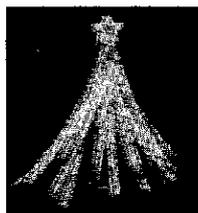
地域を照らせイルミネーション

十二月一日、仙田コミュニティセンター協で、中仙田百円会（南雲弘会長、会員五十五人）による大ツリーの点灯式が行われました。

これは、同会が昨年から始めた事業に町の地域活性化プロジェクト支援事業を取り入れたもので、高さ約二十メートルのメタセコイヤの木に約二千個のイルミネーションを飾りました。

ツリーは、二十四日までの午後五時から十二時まで点灯され、幻想的に夜を照らしながら、近

づくクリスマス気分を盛り上げます。



祝 地域活性化

大賞受賞

十一月二十日、角万寺スキー場管理組合（小林正夫組合長）の「地域活性化大賞受賞祝賀会」が総合センターで開かれました。同組合は、地域活性化のために、川西雪まつりをはじめ各種事業を諸団体と協力して展開してきたことが高く評価され、新潟県異業種交流センターから、去る四月に表彰されておりました。

式典には、組合員のほか町・議会・商工会・スキーやモトクロスとの関係者など約八十人が参加し受賞を祝いました。

また、この席上、同組合より大賞賞金のうちから、スキー場建設資金に五十万円、川西雪まつり事業に十万円が、事業の推進に役立ててほしいと町長に手渡されました。



小林組合長（左）から町長に手渡されました

今冬の除雪計画

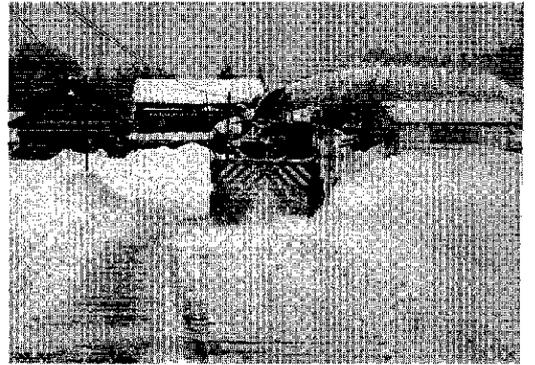
12月1日、総合センターで町除雪協力会総会が行われ、今冬の除雪計画が決まりました。

計画では、町道の1・2種除雪路線を合わせて160路線、71.29キロとなっています。これは、町道の約3割にあたり、昨年より1.62倍増加したことになります。

近年、降雪は少雪傾向にありますますが、道路除雪となりますと昼夜を問いません。路上駐車がありますと、作業の能率や交通の安全にも支障となりますので、夜間の路上駐車はしないでください。

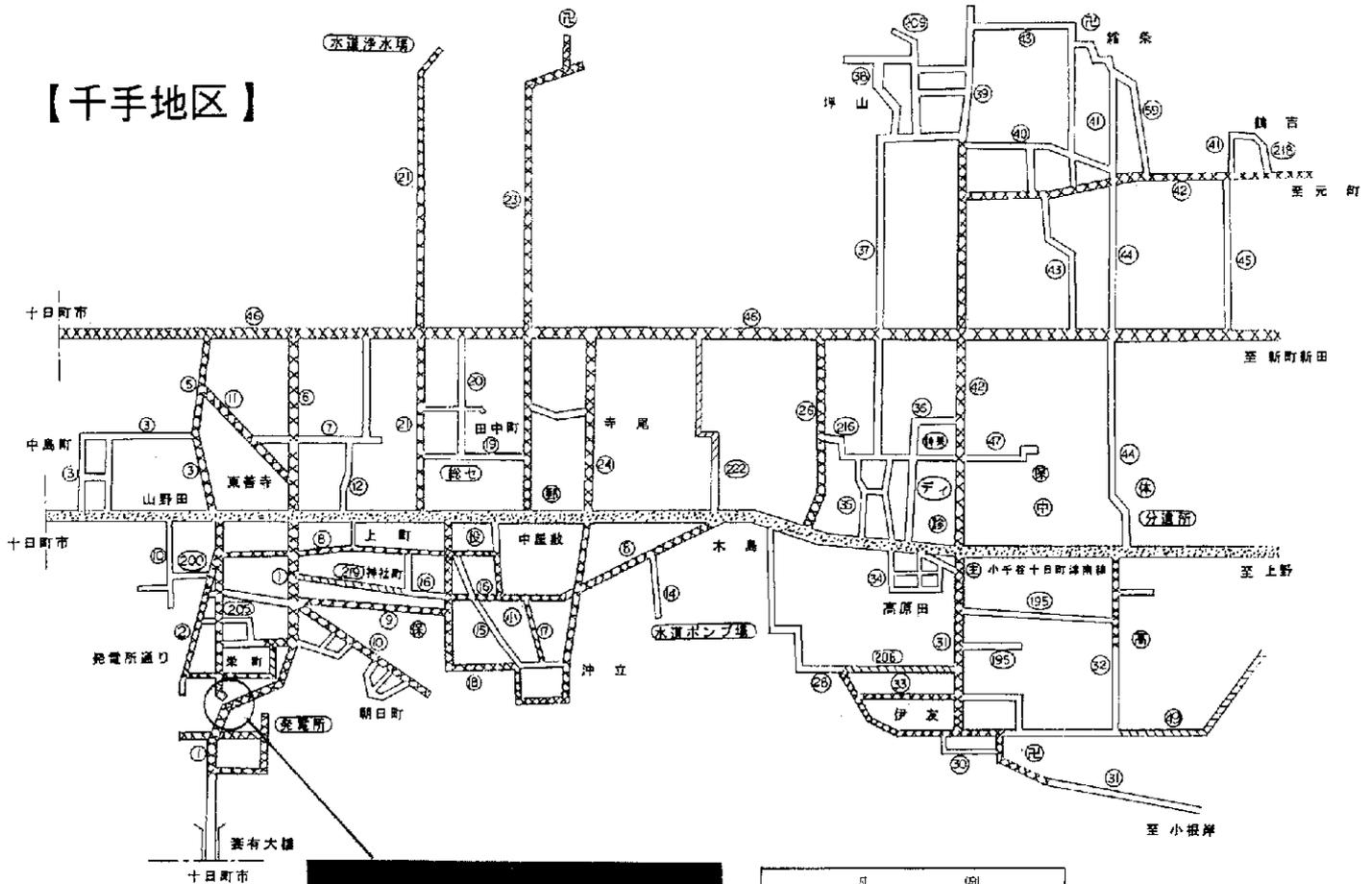
なお、流雪溝等に雪を入れる投雪口(フタ)は、使用しない間はかならず閉めておいてください。

また、町道山野田下平線のうち、古峰神社を通過する路線については、孫左衛門橋たもとの合流点付近で一部除雪をしませんので通り抜けできなくなります。ご注意ください。

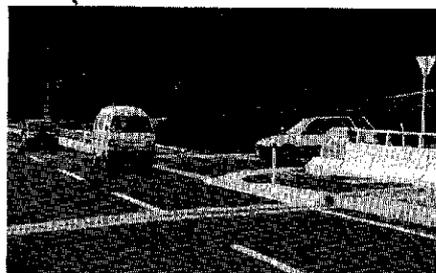


道路除雪計画路線図 ①

【千手地区】



道路標識に従って通行してください。

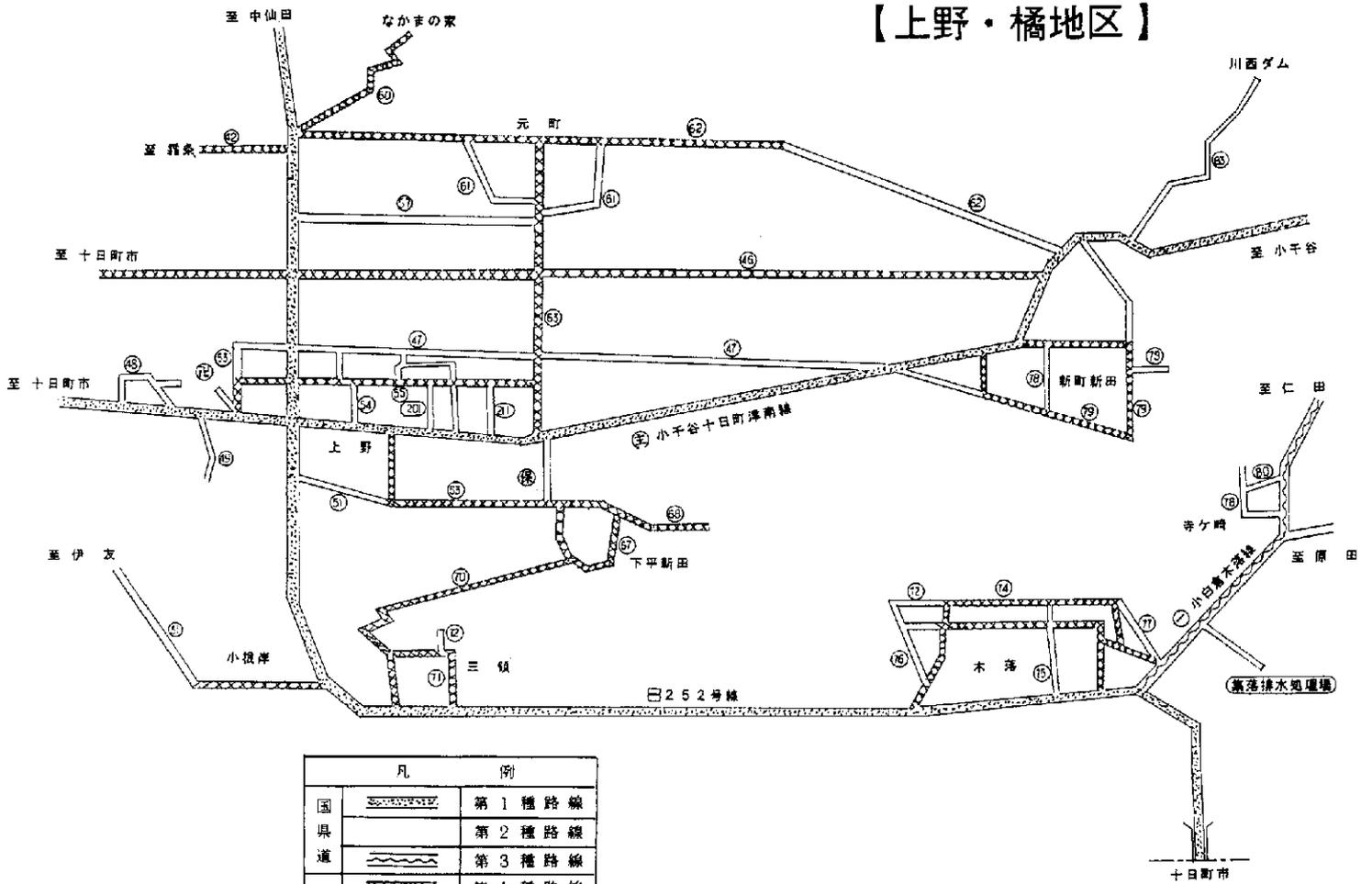


凡 例	
国	第1種路線
県道	第2種路線
	第3種路線
町	第1種路線
	第2種路線
道	圧雪路線
	新規第2種路線

○内数字は路線番号を示す

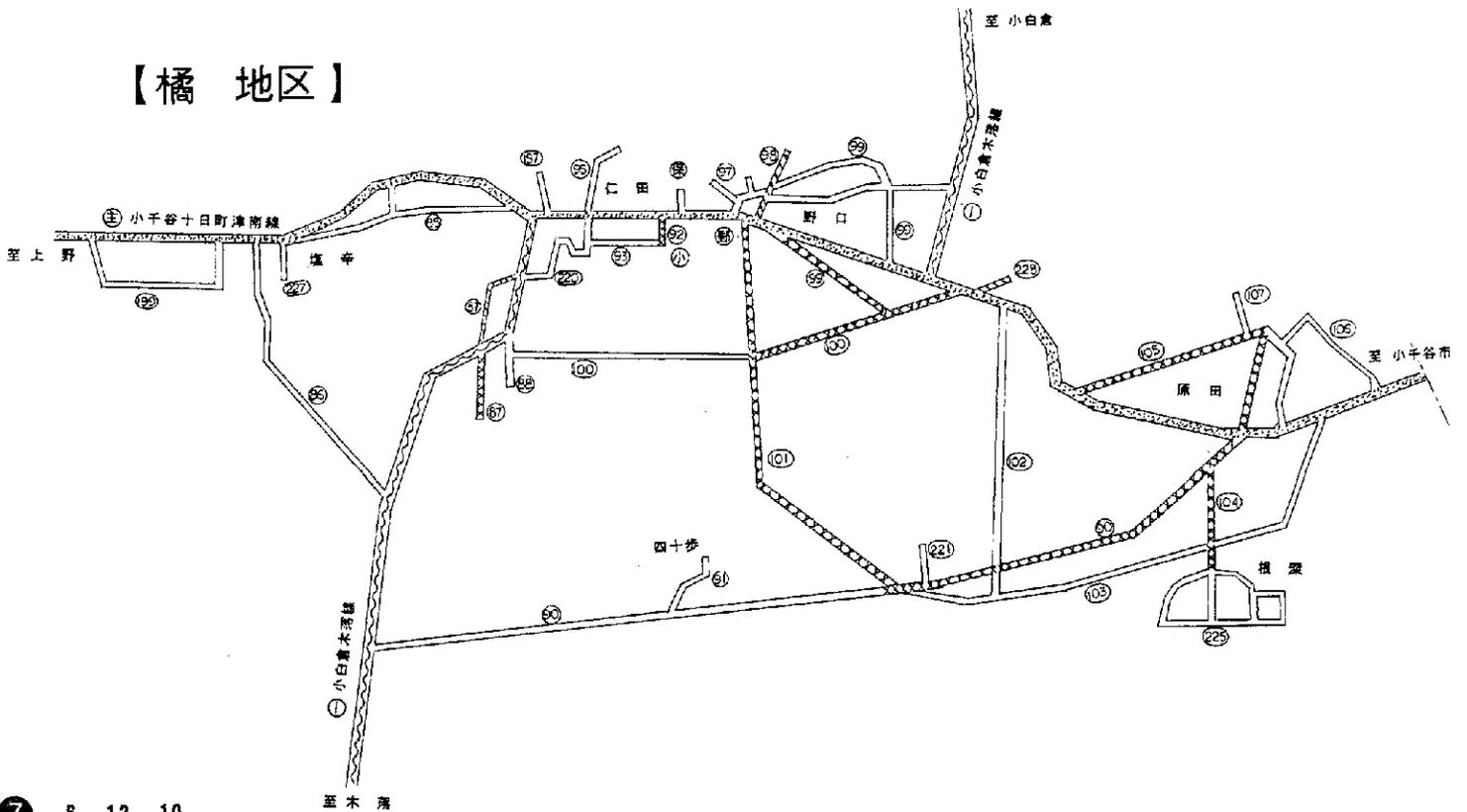
道路除雪計画路線図 ②

【上野・橋地区】



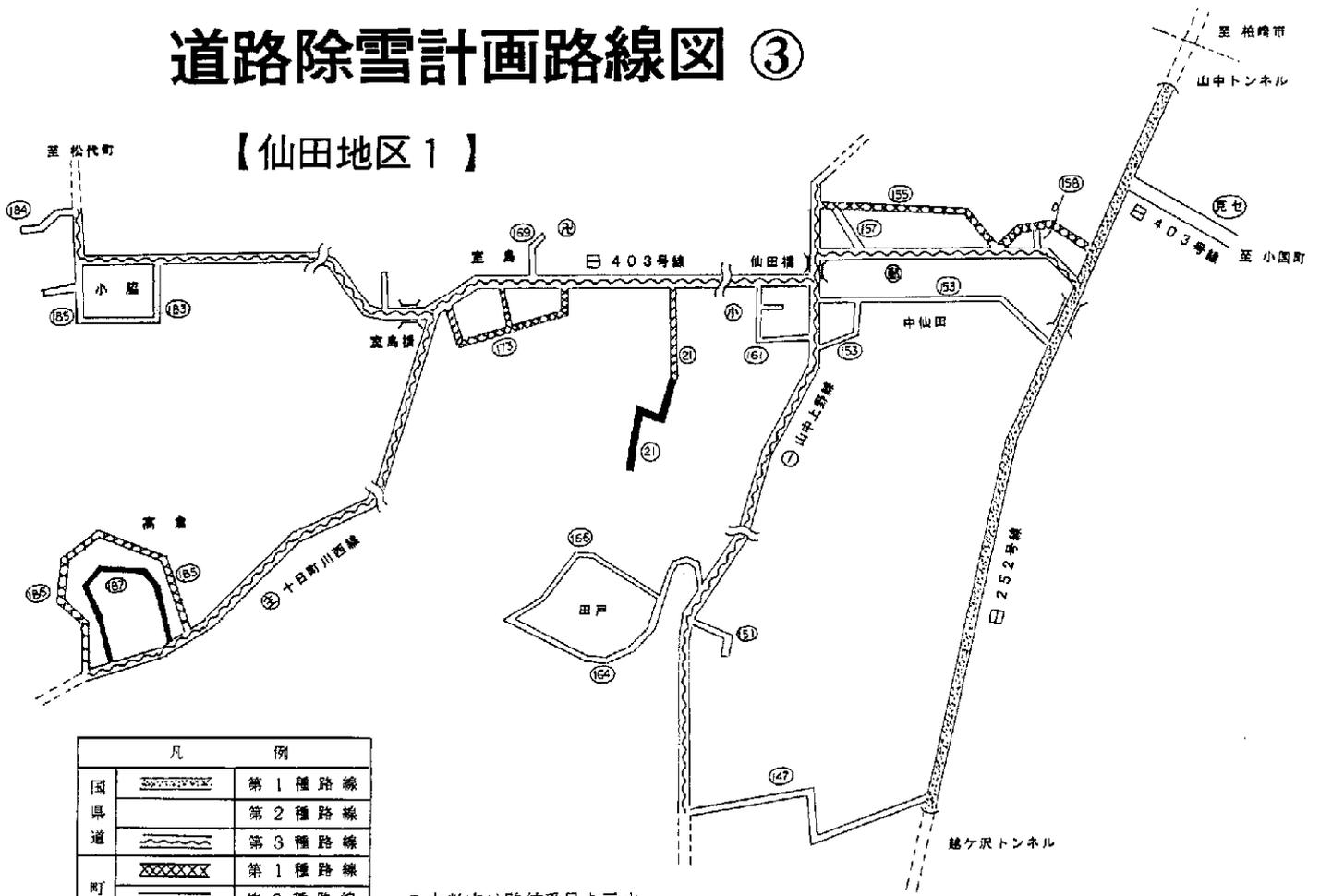
○内数字は路線番号を示す

【橋 地区】



道路除雪計画路線図 ③

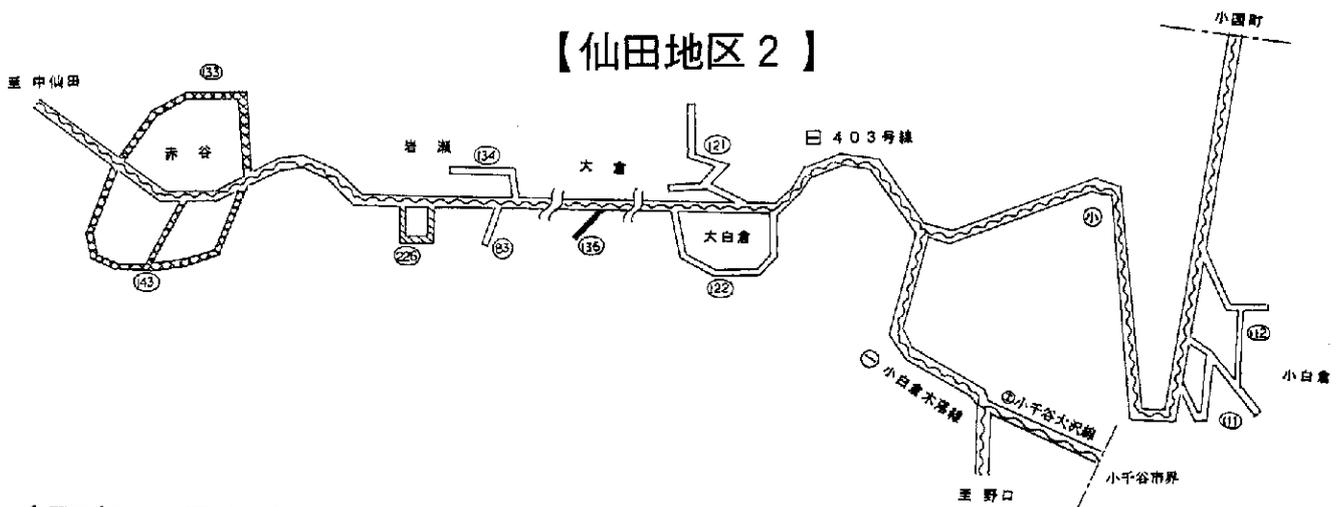
【仙田地区1】



凡 例		
国 県 道		第1種路線
		第2種路線
		第3種路線
町 道		第1種路線
		第2種路線
道		圧雪路線
		新規第2種路線

○内数字は路線番号を示す

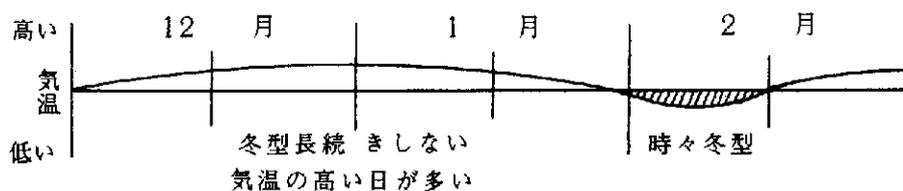
【仙田地区2】



〔天候の予想〕

- 12月 冬型の気圧配置は長続きせず、気温の高い日が多いでしょう。
- 1月 冬型の気圧配置は長続きせず、気温の高い日が多いでしょう。
- 2月 時々冬型の気圧配置となって、曇りや雪の日が多いでしょう。

おおよそのイメージ



千手村の学校問題 ⑥

岩瀬 金子 幸 作

高橋村長が職を屠す

議員五人辞職で混乱

昭和四年二月十日の「十日町新聞」は、「職を屠しても学校移転を断行、千手村長愈々大決心、観音争ひからの悪感情」と題して次のように報じている。

多年懸案中の本郡千手村学校問題はいよいよ急迫し、すでに職員室も教室に充当しておく程の處へ四年度からまた一学級増加せねばならぬので、高橋村長は本月末の通常村会に中野村との合併の覚書に基づき学校移転改築を提案するというが、これが財源は旧中野村持参の積立金約一万円敷地買収積立金六千円の外に学校並に村の基本金三万円ありこれを繰入れれば仮設計による総工費四万五千円には一万余円の不足でしかなく、さした困難はないが移転の結果遠距離になる南端部で中野村との合併の条件を裏切つて反対するものあり、旁明治中葉の観音争奪等旧来の悪感情も混濁し居るも、高橋村長は職を屠しても断行するといつており、成行が注目される。

高橋増二郎村長(坪山)が両地区の中央に新校舎を建築する腹を固めると、これまで平穩だった村が賛否両論に分かれて険悪な空気に包まれていった。村

会の勢力分野は移転新築に賛成の議員が七人で、反対の五人は異論を唱えても勝てないので地元の意向を代弁できないからと、小野塚長八郎(水口沢)、数藤慶蔵(沖立)、田辺善三郎(上新井)、星名甚十郎(沖立)、太田寿太(水口沢)の五議員が二月二十三日に高橋村長に辞表を提出した。地元の消防組も全員が五人の行動を支持して辞職し、防災や治安が憂慮される事態になり、学校の移転、改築問題は大きな火の手をあげて燃えさかることになった。

こんなある日、千手校と中野校の統合に反対する中央町以南の村民四十名が役場へ押しかけ、高橋村長に直談判して移転新築を中止させようとしたが、警察当局はこれを不穩当な行動であるとして鎮圧した。これに従う

ことを余儀なくされた反対派は、大湊昇ほか数名の交渉委員をあげて断固反対を申し入れたが、高橋村長は反対派の代表に満足する回答をあたえなかった。このため談判は険悪になったが、丸山春吉助役(中屋敷)が中に入つて交渉し、たびたび会見したがまとまらなかった。

覚書の破棄をねらう

議員が五人も欠けたことで、村は三か月以内に補欠選挙を執行する破目になったが、辞職した議員の地元は移転に絶対反対を唱えて後任の議員を出さないぞと氣勢をあげた。こうなると、合併時の覚書で千手から七名の議員を出す約束になつていない村当局は、補欠選挙ができないで静観するほかはなかった。

ところが、ある日、旧千手側の一部が豹変して後任の議員選出に同意した。この動きは、合併時に協定した議員定数(旧千手七、旧中野五)を反故にすれば、統合校を五年以内に移転新築する取り決めの覚書も無効にできる、そうするために、中野側から五名以上の議員を出そうと謀るものであった。千手は、中野側から一人でも多くの議員を出そうと水面下で動きまわり、自羽の矢を立てられた中野の候

補者たちは驚いて辞退した。いっぽう、議員はやはり千手側から出すべきだと主張して動く者もあつて、前代未聞の補欠選挙が執行されることになった。

辞職した議員の再出馬や、旧中野側の候補者を合わせると、昭和四年五月十四日執行の補欠選挙に立候補した(させられた)人士は次のとおりである。

- 喜多延治(東善寺)、阿部惣蔵(不詳)、小野塚長八郎(水口沢)、小海定治(水口沢)、清水甚一(中屋敷)、中村甚平(坪山)、高橋九重郎(友重)、中村壯吉(坪山)、南雲政治(水口沢)、星名寅吉(稲条)、丸山文平(中屋敷)、丸山一蔵(不詳)、宮雄策(山野田)、山村人法(寺尾)、渡辺〇蔵(不詳)、渡辺新六(鶴吉)、高橋喜三郎(水口沢)

落選運動した候補者

自分から名乗りを上げた候補者は一人も無く、本人に無断で他人の印鑑を押しした推せん形式の立候補届出がほとんどで、これを知った候補者があわてて辞退する騒ぎも五件あつて、結局七名超過の十二人が落選を争う奇妙な選挙になった。告示が締切られたあとで候補者になつて

「オレに投票しないでくれ」と戸別訪問して歩く落選運動が投票日の前日まで続けられた。

旧千手側の手で立候補させられていた、中村壯吉初代川西町長が次のように語っている。

オレも候補者になつていないことを知つて、当選しないようにあわてて落選運動をして歩いた。栄行寺の大湊彰尊師に、「農村の中堅として将来の村を背負つていかなければならぬお前がそんな引込み思案なことどうする」と気合いをいれられたが村中が学校問題で大もめしているさなかに、村会議員になつて騒ぎに巻き込まれるのが嫌だった。当時のお寺様は特権階級というか、住民の尊敬を一身に集めており、それだけ発言力も強かつたが、このときだけはいうことを聞かなかつた。



統合校の建設予定地
(現在の木島川南)

だより

分館図書を入れ替えました

上野コミュニティセンター！
 橋高齡者コミュニティセンター！
 一・仙田克雪センターの各公民館分館図書を全部入れ替えました。どうぞご利用ください。各分館とも鍵が開いている時は、備え付けの貸出簿に記入するだけで自由に貸し出しています。上野コミセンは調理室に、橋コミセンは二階小集會室に、仙田克雪センターは二階大会議室に置いてあります。管理者に「図書を借りに来ました」と一声かけてから、どうぞ気軽にのぞいてみてください。

善 意

(敬称略)

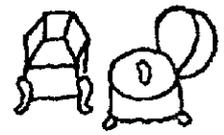
広報発行に
 山賀規司 (十日町市) 1万円

社会福祉に
 西野美枝 (練馬区) 1万円
 カーブミラー8基 新潟川西農協

◇寄贈図書の紹介
 上野の松沢真代さんから、八十余冊の本を寄贈いただきました。渡辺淳一・平岩弓枝・遠藤周作等々の小説が大部分ですが、異色の本二冊を紹介いたします。

○素直な心になるために
 P H P 研究所 松下幸之助
 素直な心とは寛容にして謙虚な見方のできる心である。人間本来の素直な心に目をめよう。と、著者自身の心に呼びかけた座右の銘というべき書である。

○遠い「山びこ」 文芸春秋
 無着成恭と教え子たちの四十年 佐野真一
 「山びこ学校」に登場した四人の子どもの「その後」を追跡したルポ。戦後の底流に生きた人々の姿が刻印されている。



かわいし 俳壇 高崎正風選

両の手を重ね太りし手芋掘る
 長芋の紆餘曲折の掘られけり
 どこまでも空の青さや落葉焚く
 上野 内山 寛平
 赤とんぼ石のぬくみにむらがりて
 山茶花のつぼみ数多や冬に入る
 上野 入沢 はや
 初獵の音に明けたる信濃川
 そば落とす少き日和浴びながら
 小白倉 田中 優美
 向き合うて店の福笑む西の市
 続飯練り仕上げし桶の柚子湯かな
 足立区 駒形 頼太
 桶の水なめて茅漬塩加減
 静もれる大冬田原一人行く
 山野田 藤田ひろ志
 初霜のありと日記に記しけり
 雪囲い老いの分担終りけり
 赤谷 登坂 酔月
 留守に來し客のメモある時雨かな
 荷をとけば大きな冬至南瓜かな
 足立区 涌井ハル子

掃き終えし庭に落葉の舞いおりぬ
 晴れわたる初冠雪の山清し
 仁田 戸田 貞
 一軒の茶屋に昼餉や紅葉狩り
 冷える夜の娘と分け合える玉子酒
 野口 村越 由喜
 豊作にして小粒なる銀杏かな
 水逃げし桶整うて茅漬ける
 寺尾 白井すみい
 狂い咲く庭のさくらに佇ちつくす
 茅漬の大きな石を持たせらる
 霜条 大海 白涛
 よき日和ははじけこぼる・小豆もぐ
 村十戸三戸残して時雨過ぐ
 小白倉 江口みゆき
 老夫婦なりし遍路の岬行く
 練馬区 須藤 遊人
 一と時の落葉吹雪の中にをり
 新町 若山 向山
 しばらくは蝶を遊ばせ庭の菊
 綾瀬市 野沢ますえ
 悴みし手にほかほかのさつまいも
 野口 五十嵐トラ
 木枯らしの西へ返せば雪という
 野口 野沢 静江
 遠山の雪化粧せり今朝の晴
 木落 丸山 詩朗

応援歌こ、まで届く菊日和
 野口 野沢 寅生
 残菊の束ねしままに倒れおり
 岩瀬 登坂伊智子
 団地の灯ひとつひとつの夜長かな
 伊勢原市 金子 桂吉
 山茶花の蕾かすかに色付きし
 志木市 山田十久二
 猫がいて子がいて小豆干ており
 元町 金子 鉄平
 霜月や図書館に見るハイビジョン
 厚木市 川崎 保一
 大根が腕程になる日和かな
 八王子市 松浦 サク
 柿ひとつ梢に残る鱗雲
 浦和市 登坂 博史
 落葉踏み来る足音や山の径
 大倉 中条 石平
 冬囲済みたる宮居掃きにけり
 野口 村越 幸
 初獵の銃声に犬走り出し
 高原田 引間 子舟
 プナ一樹落葉つくして雲を掃く
 高倉 斎木 和人
 折々に紅葉を隠し霧湧ける
 仁田 小幡しん女

ムラ言葉その7

このコーナーは、小海止太郎 (小根岸) さんの発刊された、ふるさと言葉改訂版「中魚沼のムラ言葉抜粋五千字」より、ごく一部を紹介してきましたが、今回をもって終了となります。やがく(騒ぐ) やきもきする(気持ちの急ぐ様子) やたら(度々)

やっこい(軟らかい)
 やつとおこねえ(ヤリンコナイ)
 やがやがとする(急いで簡単にする)
 やけつり(やけど)
 やのことびつこい(いやだ、いやだ)
 やめる(痛む・うすぐ)
 よ(湯)(風呂の湯・呑み湯)

よあかし(徹夜)
 よーきがいい(天候が良い)
 よぶ(歩く)
 ようほ(手伝い)
 よて(入浴用の手拭い)
 よおともねえこと(おせっかい)
 よろこぎ(横座)(炉の上座)
 よーともねえ(くだらない・無用)

らくらくする(のんびりする・安心する)
 わけつちよ(分け前)
 わたませ(家移り)
 てつき(餅を焼く足付きの鉄製品)
 わらうち(わらじ)
 わりっかす(悪重)
 んまげだ(おいしそうだ)

メニューに加えたい一品

1

十一月号まで「手軽にできるふるさとの味」を十五回掲載してきましたが、今回からは、「メニューに加えたい一品」と題して、いろいろな料理を紹介していきます。

第一回は、十一月八日に総合センターで行われた韓国料理教室のなかから、白菜キムチを紹介いたします。

講師は伊勢平治の佐藤恵子さんで、二十二人の方が手ほどきを受けました。

白菜キムチ

◆材料

白菜	四個
大根	二本
人参	二本
ニラとネギ	一束
タマネギ	一個
ニンニク	二個
生イカ	二杯
ゆるいおかゆ	一杯
南蛮粉	大サジ五杯
塩	あら塩
味の素、砂糖	本だし

◆作り方

①白菜の漬け方

・白菜を四つ切りにし、薄い塩水を作り白菜を通し（葉にも軽く塩がかかる）軽くしぼり塩水を落とす。

・さらに、白菜の茎のところに初霜程度の（パラパラ）塩をかける。

・この白菜に重しをしないで二〜三日置く。そうすると、適度の塩で白菜がしんなりする。

②キムチの作り方

・イカは皮をむき、イカ、長ネギ、ニラなどを細長く切る。（薄く10分ほど程度）

・人参、大根は細長く（薄く10分ほど程度）切り、水気を切るために塩小サジ一杯をかけ、かき混ぜて五分放置する。その後水を捨てる。

・ニンニクと生姜は細かく切りさらにつぶす。

・タマネギは半分を薄く輪切りにし、半分はすりおろす。

※前記の材料を大きいボールに入れる。

・本だしを入れて出し汁を作る。

・そこに、南蛮粉（大サジ五杯）十塩（大サジ三杯）を加え、混ぜ合わせる。

③漬けた白菜とキムチ

・漬けた白菜を軽くしぼり、準備したキムチを葉を間に少しずつ詰める。

・二〜三日すると食べ頃になる。

★ワンポイントアドバイス

白菜は、外側が青く内側が黄色い白菜を選び、白菜を塩辛く漬けないことがポイントです。南蛮さえあれば以外と簡単にできますのでお試しください。



お酒の上手なつきあい方

師走に入り、忘年会の声もあちこちで聞こえてきているようです。年末年始は何かとお酒を飲む機会も多いもの。また、寒い冬にあつたかいおなべと日本酒は、お酒好きの方にはこたえられないのではないですか。

しかし、最近、日本人のアルコール摂取量はみるみる増えていくと聞きます。今年の酷暑の中、ビールの消費量は史上最高だったとか？楽しいお酒は気持ちほぐし、陽気な気分にはさせてくれます。一日一〜二合程度であれば、血行も良くなり、食欲も増します。上手に飲めば、お酒も決して毒ではないのです。が、お酒に飲まれてしまうようでは大変。自分の酒量をわきまえて、楽しいお酒を飲みましょう。…とは言うものの、ついつい周りの雰囲気の流れで、飲み過ぎてしまうのがこの季節です。二日酔いは自業自得とはいえ、本当に困るもののようにです。その対策法として、①水分をどんどん飲む。②ひとつまみの塩や重曹を飲む。③柑橘類を多く食べる。しかし、なにより二日酔い対策は、ならないようにすることです。「反省だけ

ならサルにもできる。」でも実践するのはアナタです。また、お酒に弱い方は、飲む前に牛乳を飲むと、胃からのアルコール吸収をやわらげてくれます。これからは、妻有地方独特の、低い雲とどんよりとした天候が続きます。たまには、楽しいお酒でストレス解消を。そして良いお年をお迎えください。



戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

小林佳代子9(フジエ)木島
沢口 五作81(勇)下平新田
藤田 ヨ子86(富雄)根深

うぶ声—おすこやかに

柳 智秋 十四男 長女 学校町
弘美

たかさご—ご円満に

清水和伸 神社町
西川かおる 十日町市から
中村 明 坪山
野田 浩子 小千谷市から

(11月1日〜30日届け出分)

水品 千晶 成良 長女 新町新田
春日 彩香 一子 長女 中島町
紀子

平成六年工業統計調査等にご協力を

通産省では、平成六年十二月三十一日現在で工業統計調査・商鉱工業石油等消費構造統計調査を行います。対象となる事業所には、県から任命を受けた調査員が、本年末から来年一月にかけて調査票を持って伺います。調査の内容は、平成六年一年間

の製造業の実態と石油などの消費の実態です。

調査員は次の皆さんです。ご協力をお願いします。(敬称略)
千手地区 市川幸治(中島町)
上野地区 南雲隆三(三領)
橘地区 滋野定良(野口)
仙田地区 登坂正道(岩瀬)

表紙の写真

十一月は各小学校で就学児の健康診断が行われました。

来春入学する児童は、千手小三千五人、上野小十八人、橘小二十三人、仙田小六人の計八十二人。十年前の昭和五十九年の入学児童が百四十六人でしたので、これと比較すると約六割。特に千手小の減少が目立っています。

ます。一クラスの編成は三千九人が基本となるため、各小学校とも平成七年度の入学児童は一クラス編成となり、当分この状態が続きます。

写真は、上野小学校での健康診断の様で、校医の藤巻定則先生が、元気な上野っ子の健康をチェックしました。

ちいさな展覧会

77

千手小学校



4年生 川崎佳美さん ▶

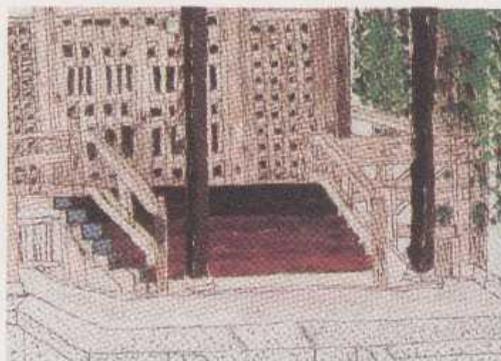
◀ 3年生 高橋保弘くん



▶ 5年生 野上奈津子さん



▶ 6年生 小野塚真くん



2年生 星名千夏さん ▶



◀ 1年生 なかじょうまなみさん

(1月号は上野小学校です)